

2010年度決算説明会



『三菱 コンセプト グローバル スモール』

三菱自動車工業株式会社

2011年4月27日

2010年度業績の概況



青砥 修一

常務取締役 (CSR・管理・経理統括部門担当)

為替円高影響を台数増、コスト低減等で打ち返し増収増益

(単位：億円, 千台)

	FY09 実績①	FY10 実績②	差 ② - ①	FY10計画 '11/2/2 公表値
売上高	14,456	18,285	+3,829	19,000
営業利益	139	403	+264	450
経常利益	130	389	+259	300
当期利益	48	156	+108	150
販売台数 (小売)	960	1,105	+145	1,124
販売台数 (卸売)	805	1,045	+240	1,070

注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

第4四半期の改善により経常利益・当期利益で公表値達成

(単位：億円, 千台)

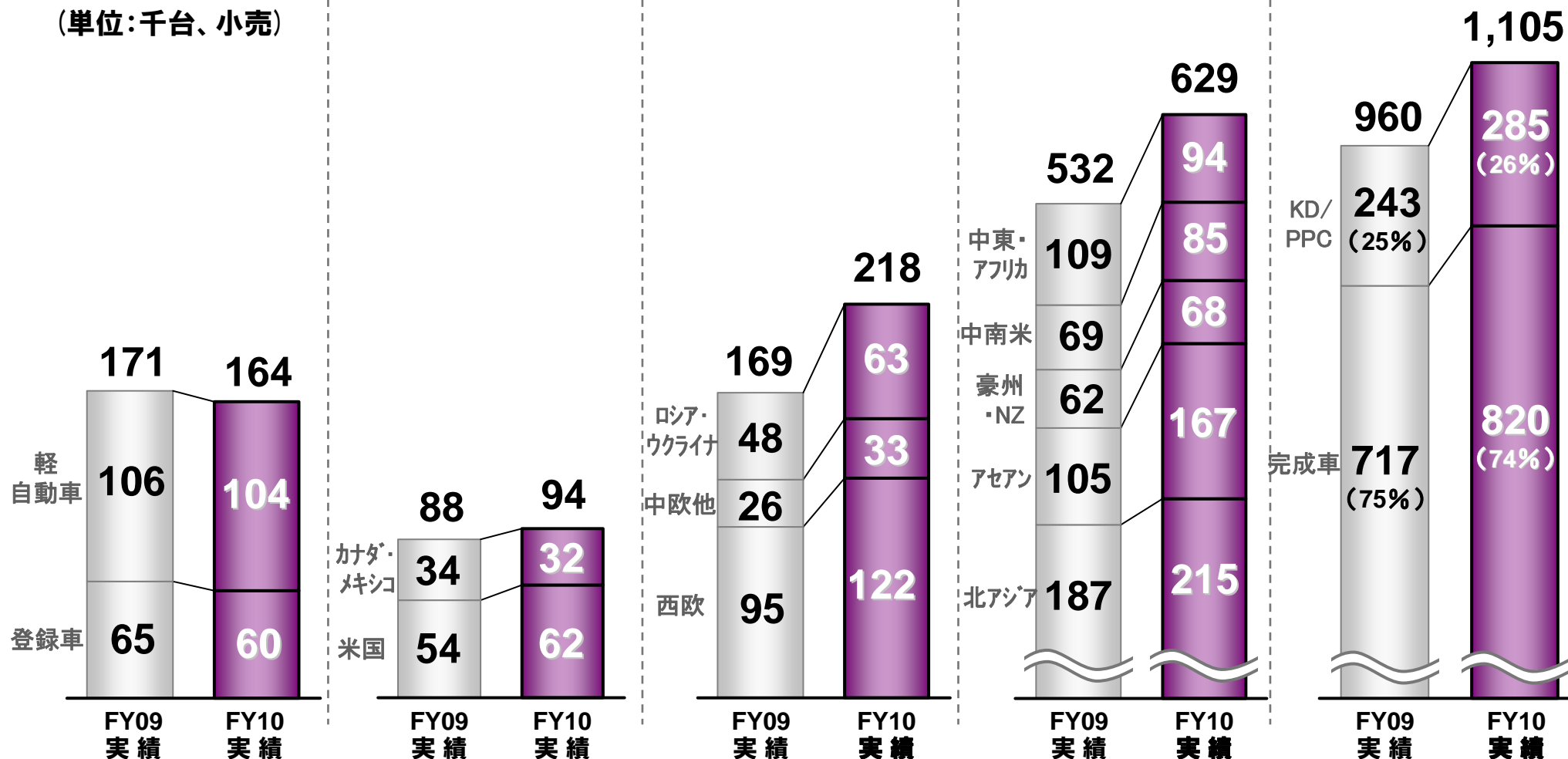
	1Q ('10/4-6)	2Q (7-9)	3Q (10-12)	4Q ('11/1-3)	FY10 通期 ('10/4-'11/3)
売上高	4,037	4,610	4,462	5,176	18,285
営業利益	-45	114	61	273	403
経常利益	-58	128	44	275	389
当期利益	-118	69	27	178	156
販売台数 (小売)	257	270	280	298	1,105
販売台数 (卸売)	228	267	251	299	1,045

注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

2010年度地域別販売台数【前年度対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年度実績対比増減》				
- 7 (-4%)	+ 6 (+7%)	+49 (+29%)	+97 (+18%)	+145 (+15%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

2010年度営業利益増減分析 【前年度対比】

(単位: 億円)

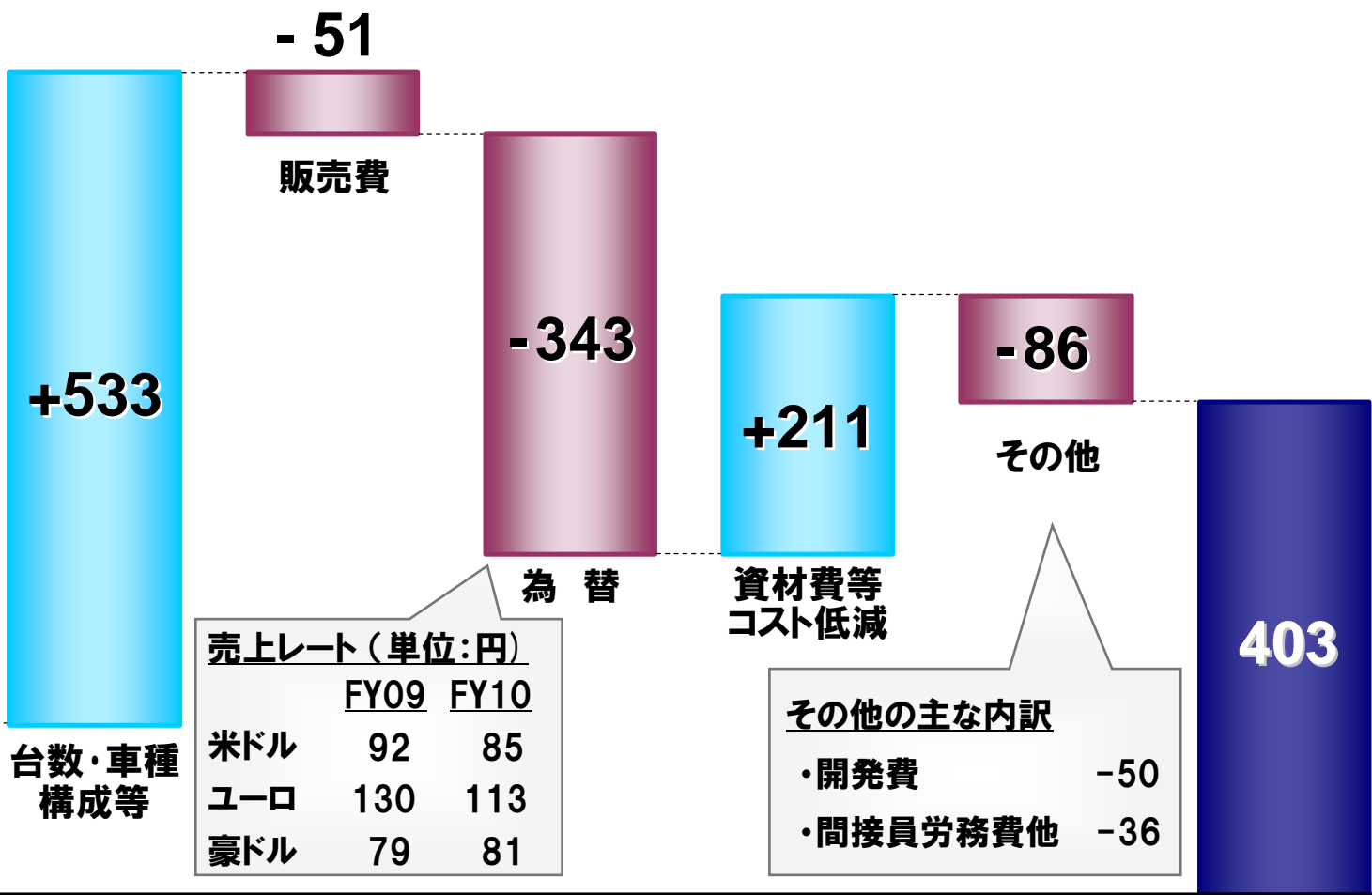
FY09
実績

+264億円

FY10
実績

地域別

日本:	+7
北米:	+48
欧州:	+144
その他:	+334



売上レート (単位:円)

	FY09	FY10
米ドル	92	85
ユーロ	130	113
豪ドル	79	81

その他の主な内訳

・開発費	-50
・間接員労務費他	-36

139

403

經常利益・当期利益 【前年度対比】

(単位：億円)

	FY09 実績①	FY10 実績②	差 ② - ①	
営業利益	139	403	+264	
営業外損益	- 9	- 14	- 5	主な内訳 ・為替差損益 -3
經常利益	130	389	+259	
特別損益 及び法人税等	- 82	- 233	- 151	主な内訳 ・特別損益 -71 ・法人税等 -80
当期利益	48	156	+108	

貸借対照表【前年度末対比】

(単位：億円)

	FY09末 ('10/3月末)	FY10末 ('11/3月末)	増減
資産合計	12,587	13,125	+538
うち 現金預金	2,643	3,171	+528
売上債権	1,214	1,144	- 70
たな卸資産	1,839	1,893	+54
負債合計	10,242	10,644	+402
うち 仕入債務	2,650	2,786	+136
有利子負債	3,927	3,979	+52
純資産合計	2,345	2,481	+136

■ 2010年度実績

為替円高影響を台数増、コスト低減等で打ち返し増収増益

- 販売台数(小売)：前年度比15%増加の1,105千台 北米・欧州・アジア他で前年度を上回る
- 販売台数(卸売)：前年度比30%増加の1,045千台 北米・欧州・アジア他で前年度を上回る
- 売上高：前年度比26%増収の1兆8,285億円 卸売台数増加が寄与
- 利益：営業利益 403億円、経常利益 389億円、当期利益 156億円
前年度比でそれぞれ 264億円、259億円、108億円の増益
為替円高影響を台数増、コスト低減などで打ち返す

■ 2011年度見通し

東日本大震災の影響により、安定的な生産が困難なお取引先部品メーカー様の復旧状況や今後の電力供給の問題など当社の生産に影響を及ぼす不透明な外的要因もあることから、現時点では2011年度業績見通しについて合理的な算定が困難な状況にあります。

したがって、2011年度業績見通しにつきましては今後予想の開示が可能となった時点で速やかに開示することといたします。

生産の見通しについて



益子 修
取締役社長

震災前の生産計画レベルへの回復に向けて

■ 国内生産

- ・ 国内車両工場に直接的な震災被害はないが、
4月前半は部品調達面での制約により稼働と停止を繰り返す
- ・ 4月18日からは継続生産を再開
部品調達の改善と生産可能車種を優先した生産対応
- ・ 4月生産実績見込み：計画比※ 約60%（4月18日以降は約90%）

【今後の生産について】

- ・ 車種・仕様に制約はあるが、計画に対し1Qは8割強、2Qは約8割となる見込み
上期全体としては計画に対し約8割を目指す（前年同期比 1Q:9割弱、2Q:7割弱、上期:8割弱）
- ・ 10月からは正常な生産レベルへ

■ 海外生産

- ・ 現状は予定通り生産
- ・ 2Qは計画を若干下回る可能性があるが、以降は正常な生産レベルへ

※震災前の社内計画比

ご参考【2011年度投入予定の新型車】



『三菱 コンセプト グローバル スモール』



軽商用電気自動車『MINICAB-MiEV』
(実証試験車)



北米向け『i-MiEV』

添付資料



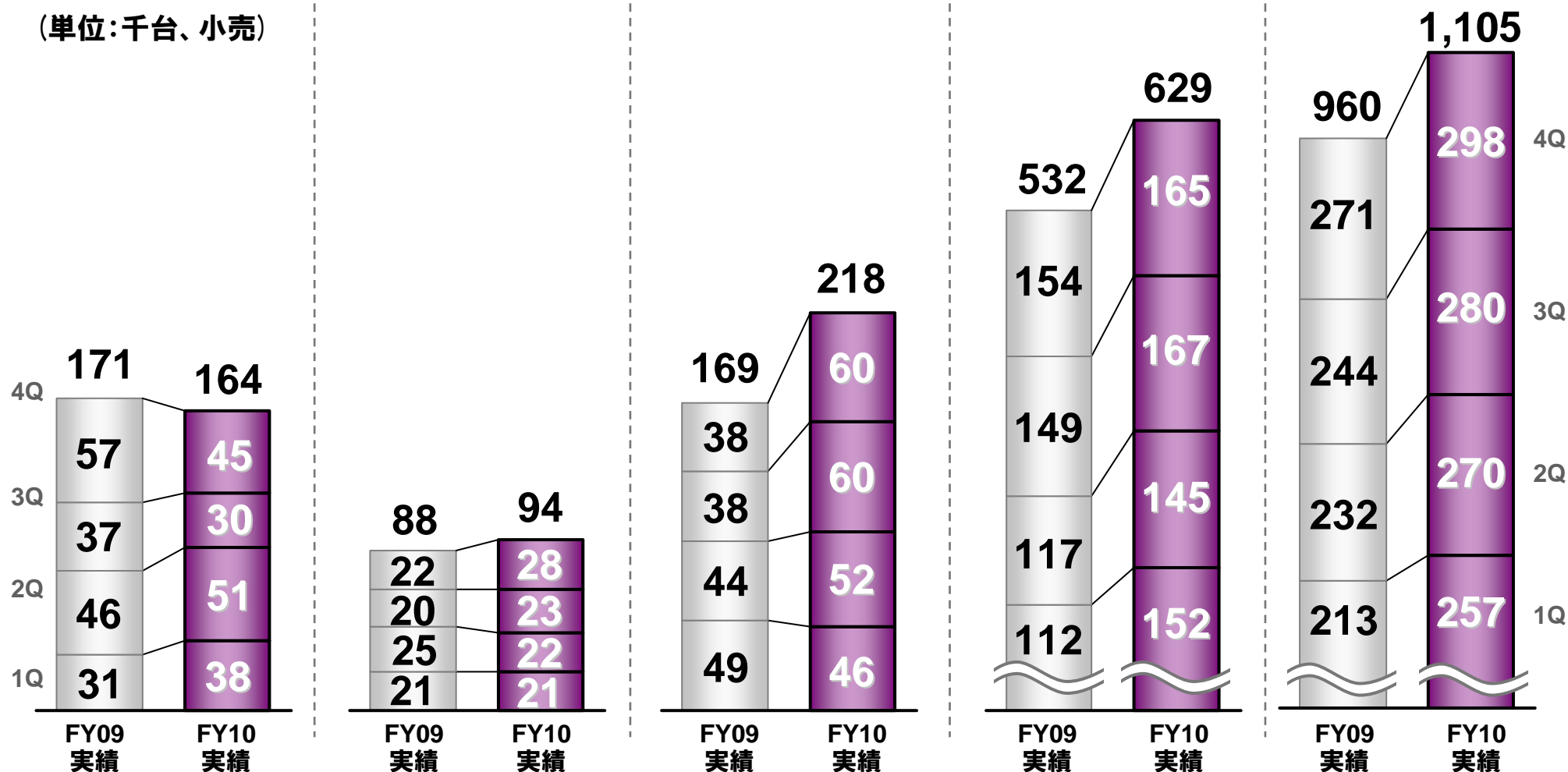
『パジェロ スポーツ』

2010年度 地域別販売台数実績【四半期別、前年同期対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《前年度実績対比増減》				
- 7 (- 4%)	+ 6 (+ 7%)	+ 49 (+29%)	+ 97 (+18%)	+ 145 (+15%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

2010年度 地域別業績 【前年度対比】

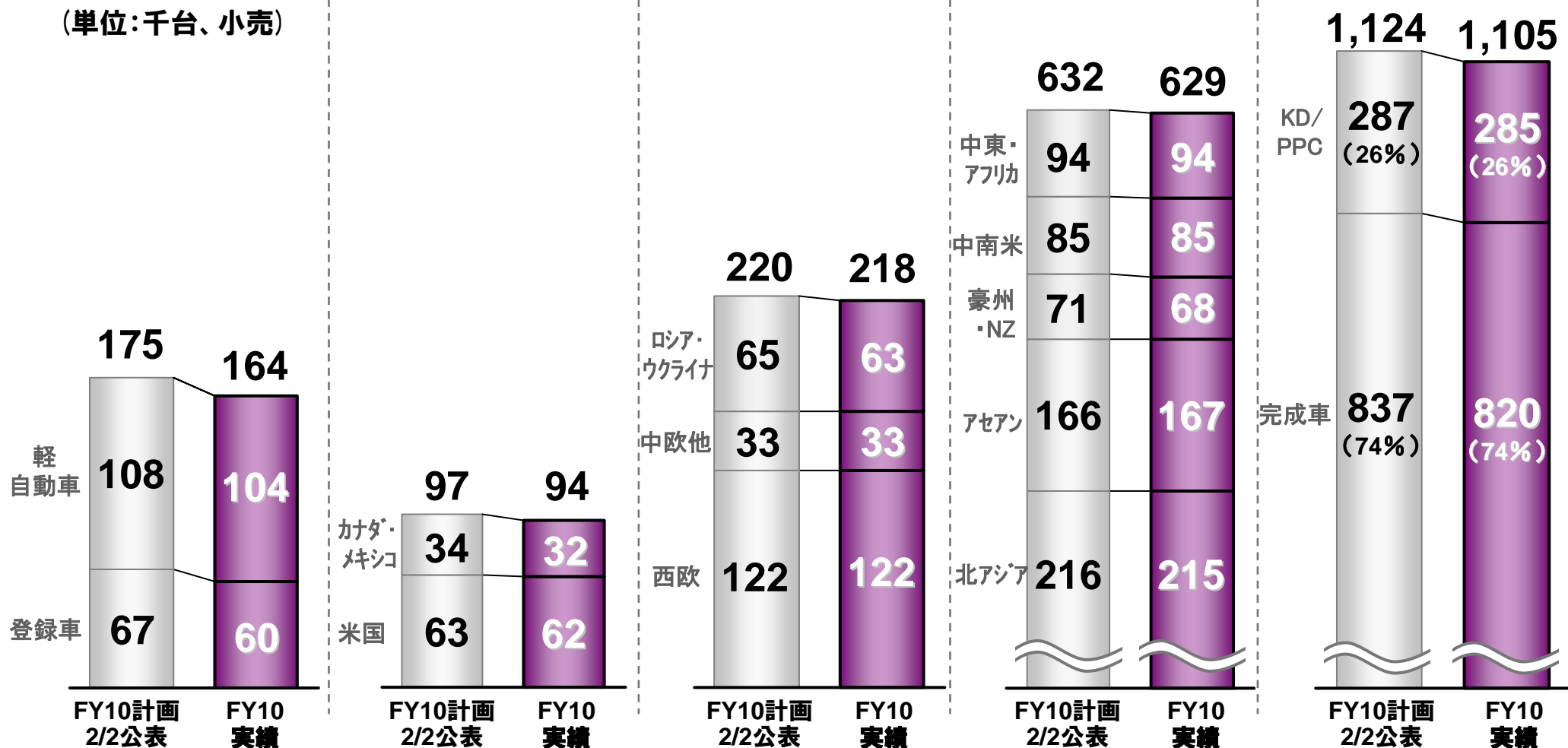
(単位: 億円)

	FY09 実績①	FY10 実績②	増減 ②-①	【参考】 FY10計画 2/2公表値
売上高	14,456	18,285	+3,829	19,000
- 日本	3,685	3,633	- 52	3,950
- 北米	1,754	1,898	+144	1,950
- 欧州	2,692	4,900	+2,208	5,100
- アジア・ その他	6,325	7,854	+1,529	8,000
営業利益	139	403	+264	450
- 日本	- 12	51	+63	90
- 北米	- 282	- 279	+3	- 300
- 欧州	8	- 264	- 272	- 240
- アジア・ その他	425	895	+470	900

2010年度 地域別販売台数【2/2計画対比】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《2/2公表値対比増減》				
- 11 (- 7%)	- 3 (- 3%)	- 2 (- 1%)	- 3 (-)	- 19 (- 2%)

(単位:千台、小売)



注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

2010年度業績サマリー 【2/2計画対比】

(単位: 億円, 千台)







	FY10 2/2公表値①	FY10 実績②	増減 ② - ①
売上高	19,000	18,285	- 715
営業利益	450	403	- 47
経常利益	300	389	+89
当期利益	150	156	+6
販売台数 (小売)	1,124	1,105	- 19
販売台数 (卸売)	1,070	1,045	- 25

主な増減内訳

- ・台数・車種構成等 -57
- ・資材費等コスト低減 -29
- ・開発費他 +39

注) 販売台数はOEM供給を除く。10年度販売台数実績は速報値。

電気自動車の展開拡大

	2009年度 販売実績: 1.6千台	2010年度 販売実績: 8.2千台	2011年度 販売計画: 25千台
日本	09年7月～ フリート販売		
	10年4月～ 一般販売		
	 販売実績: 1.4千台	 販売実績: 2.6千台	 軽商用電気自動車 『MINICAB-MiEV』 11年～(予約受付中) 軽商用EV
海外	09年秋～ 右ハンドル車(香港、イギリス他)		
	10年10月～ 欧州(左ハンドル市場含む) PSAプジョー・シトロエン社向け		
	 欧州向け『i-MiEV』 販売実績: 0.2千台	 販売実績: 5.6千台	 北米向け『i-MiEV』 11年秋～(予約受付中) 北米

世界戦略車『グローバルスモール』の投入

- 『グローバルスモール』のコンセプト
 - ・ 「小型」「低価格」「低燃費」の世界戦略車
 - ・ 需要の伸長が見込まれる新興国、
ダウンサイジング化が進む先進国双方へ投入
 - ・ 三菱モデルラインナップのエントリーモデル
大人5人の居住空間を確保したスモールカー
 - ・ 新開発1.0ℓ & 1.2ℓ 3気筒エンジン +
可変バルブタイミング機構 (MIVEC※¹)
アイドルストップシステム (AS&G※²)
減速エネルギー回生システム
空気の抵抗低減と車体の軽量化
- 生産工場
 - ・ タイに建設中のMMTh第3工場
 - ・ 中国での現地生産を推進
- 販売開始
 - ・ タイ市場に投入(2012年3月)
 - ・ その後、タイから世界各国へ出荷



『三菱 コンセプト グローバル スモール』



MMTh 新工場完成予想図(イメージ)

※¹ MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

※² AS&G : Auto Stop & Go

コンパクト1BOX デリカ D:2 発売

Debut!



DELICA
D:2

Big

みんなで乗っても、**広い!**

運転しやすいコンパクトカーなのに、
5人で乗ってもゆったりの室内空間。
Hウォークスルーで、
シート間の移動だってスムーズ。



Useful

お買い物やお出かけにも、**便利!**

両側スライドドアだから、
狭い場所での乗り降りにも便利。
あんなところにも、こんなところにも、
便利な収納スペースがいっぱい。

Eco

おサイフにも、環境にも、**エコ!**

クラストップ*1の低燃費だから、
環境にもやさしくてうれしい。
みんなの安全も考えた、安心機能も充実。

*1: クラス=コンパクトハイブリッドワゴン(燃料消費率1.5L以下・全長1,550mm以上の2列座席5ドアワゴン)。2011年2月現在、自社調べ。

広くて、使える、コンパクト1BOX

この度の東日本大震災により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申しあげますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげます。

一日も早い復興に向けて、弊社と致しましてもグループを挙げて全力で支援してまいります。

弊社販売会社の一部店舗においても営業に支障が出ており、お客様には大変ご迷惑をおかけしております。

一刻も早く皆様のお車を万全にサポートできる体制を整えるべく、グループを挙げて努力を続けてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

三菱自動車工業株式会社

- 義捐金：三菱自動車グループ3,000万円 + 役員・執行役員・社員によるカンパ約1,100万円
他に海外ディストリビューターなど約40社から申し出
- 災害支援車両の無償貸与：電気自動車『i-MiEV』 89台
軽商用バン『ミニキャブ』 10台
ピックアップトラック『トライトン』 10台（予定）
- 被災者受け入れ：北海道・十勝の独身寮70室を無料貸与
- 救援物資の提供：段ボール箱 842箱（食品、衛生用品、生活用品など）



本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS